

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	慶應義塾大学	整理番号	1-2-048
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	自立と創発の未来先導理工学教育		
申請単位	学部単位		
申請担当者	稲崎 一郎		
<p>(取組の概要)</p> <p>次世代を担う研究者、技術者が具備すべき最も重要な能力は、自らの判断で自らの道を適切に決定できる能力であり、これは従来の縦割り型の押し付け教育課程では実現できない。本取組は、個の自立を促す「創発のためのネットワーク環境」、すなわち、多様な個性と資質を持った学生が共存する機会を意識的に提供し、その中での各種の相互作用を通して、新しい能力の芽、価値観、視野などが次々と生まれる創発的教育プログラムを実践することにある。</p> <p>具体的には、多様な学生を受け入れる入試制度、自立的に学科を選択する学門制、創発効果を高めるための理工学基礎教育、個性と資質に適合させた外国語学教育、成長レベルに応じた総合教育、大学院における専攻・専修制などの教育プログラム、および放任教育に陥らないための綿密なケアプログラムから構成されている。今後、理工学の素養を基礎にして広く異分野でも活躍できる人材の育成を可能とすべく、総合大学の特徴を生かし、本プログラムを発展させる。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>慶應義塾大学の教育に関するグランドデザインに基づいて、学士課程教育における優れた教育プログラムが設定されており、高く評価できます。教育プログラムは、学生が自らの判断で選択できる「学門制」と呼ばれる体制から成っており、独自性のあるものと考えられます。また、教育プログラムに適應できない一部の学生に対しては、それを補う教育支援体制(ケアプログラム)も整備されていて、学生に対するきめ細かな配慮が感じられます。学際性、国際性、豊かな教養を標榜する未来先導的研究者や技術者の育成を目指す取組として、着実な実績も積み上げられています。</p> <p>この取組は、特に際立った特色があるという性格のものではなく、長年、独自の教育プログラムによって学士課程教育に着実な実績を積み重ねてきたことに意義があります。</p>			